令和９年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

令和８年11月９日

上場会社名　　ＳＲＳホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　8163　　ＵＲＬ　https://srsholdings.com/
代表者　　（役職名）代表取締役執行役員社長　　（氏名）重里　政彦
問合せ先責任者　（役職名）取締役執行役員経営戦略本部長　（氏名）夏井　克典　　ＴＥＬ　06-7222-3101
半期報告書提出予定日　　令和８年11月13日　　配当支払開始予定日 －
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有

（百万円未満切捨て）

１．令和９年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（令和８年４月１日～令和８年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
９年３月期中間期	41,694	12.0	1,088	△32.6	1,017	△36.5	2,090	143.0
８年３月期中間期	37,212	18.2	1,613	1.0	1,600	5.9	860	△8.9

（注）包括利益　９年３月期中間期　2,251百万円（114.5%）　８年３月期中間期　1,049百万円（21.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
９年３月期中間期	50.56	45.18
８年３月期中間期	20.81	18.69

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
９年３月期中間期	53,757	20,278	36.6
８年３月期	47,145	18,441	37.8

（参考）自己資本　９年３月期中間期　19,666百万円　８年３月期　17,839百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
８年３月期	－	0.00	－	10.00	10.00
９年３月期	－	0.00			
９年３月期（予想）			－	10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．令和９年３月期の連結業績予想（令和８年４月１日～令和９年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	94,300	23.4	2,600	△14.8	2,400	△19.8	2,500	47.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規　2社　（社名）　株式会社京樽
株式会社関山

（注）詳細は、添付資料P.11「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）」をご覧ください。

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
② ①以外の会計方針の変更　：無
③ 会計上の見積りの変更　：無
④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	９年３月期中間期	41,470,184株	８年３月期	41,470,184株
② 期末自己株式数	９年３月期中間期	115,558株	８年３月期	116,058株
③ 期中平均株式数（中間期）	９年３月期中間期	41,354,555株	８年３月期中間期	41,351,171株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況 …… 5
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）中間連結貸借対照表 …… 6
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 8
中間連結損益計算書 …… 8
中間連結包括利益計算書 …… 9
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

（単位：百万円）

	令和８年３月期中間期			令和９年３月期中間期		
	実績	対前年同期増減額	対前年同期増減率	実績	対前年同期増減額	対前年同期増減率
売上高	37,212	5,731	18.2%	41,694	4,481	12.0%
営業利益	1,613	16	1.0%	1,088	△525	△32.6%
経常利益	1,600	88	5.9%	1,017	△583	△36.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	860	△83	△8.9%	2,090	1,230	143.0%

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかに回復しておりますが、円安の進行や、不安定な国際情勢の影響、地政学的リスクの高まりに加え、長引く物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。外食産業におきましては、実質賃金がプラスに持ち直しているものの実質的な個人消費は弱含みの状況が続いているほか、訪日外国人旅行者数も前年比でマイナスとなる月が多いなど消費意欲の動向には引き続き注視が必要な状況にあります。また、原材料価格の上昇に加え、物流費・建築費・人件費の増加などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、令和８年３月期を初年度とする５カ年の中期経営計画「SRS VISION 2030」に掲げた重点戦略を、２年目となる本年度も引き続き推進してまいりました。

本中期経営計画では、「既存事業の飛躍的な発展と新たな収益基盤の確立による和食チェーングループ圧倒的No.１の実現」を基本方針とし、「“和食さと”のナショナルブランド化」、「“にぎり長次郎”“うまい鮨勘”を中心としたグルメ寿司チェーン圧倒的No.１の実現」、「第３、第４の収益の柱となる事業の確立」、「売上高1,000億円超を支えるグループ機能の強化とサステナブル経営の推進」の４つの重点戦略を掲げております。

当中間連結会計期間におきましては、各重点戦略の実現に向け、既存店の競争力強化及び新規出店を推進するとともに、本年度は客数を最重要指標と位置付け、各事業において商品力及びサービス品質の向上をはじめとする各種施策に取り組んでまいりました。また、グルメ寿司及び中食事業並びに首都圏での事業基盤の強化を図るべく、首都圏を中心にグルメ寿司の「回転寿司みさき」、テイクアウトのすし専門店「京樽」を展開する株式会社京樽を、令和８年９月１日付で子会社化いたしました。

売上面では、台風の接近や長雨等の天候不順により既存店客数が伸び悩んだものの、M&A及び新規出店、客単価の向上等が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。一方、原材料費及び人件費等のコスト増加を増収効果で吸収しきれず、営業利益は前年同期を下回りました。なお、株式会社京樽の取得に伴い負ののれん発生益を計上したことにより、親会社株主に帰属する中間純利益は2,090百万円となり、前年同期を大幅に上回りました。

主要な業態ごとの具体的な取り組みや概況については、次のとおりです。

（和食さと）

和食さと業態では、期間限定で「牛タン」「松茸料理＆サーモン」などの食べ放題コースや「肉祭り」「なごやめし」などのフェアメニューを販売し、食べ放題の楽しさや御膳料理の魅力を訴求し「食事を通じた団らん」の充実を推進しました。また、「夏得キャンペーン」やアプリ会員向けキャンペーン等の実施により、夏休み期間の需要拡大を図りました。令和８年３月より営業時間延長していることの認知が進んだことに加え、21時以降の来店でアルコール商品や一品料理等をお得に楽しめる「ナイト割」キャンペーンを実施し、集客強化を図りました。以上の結果、売上高は14,803百万円（前年同期比105.1%）となりました。

（にぎり長次郎）

にぎり長次郎業態では、商品施策として旬のネタを使った「夏の結い寿司」「秋の結い寿司」フェアを実施しました。「寝屋川本店（大阪府寝屋川市）」のオープン以来、今年で25周年を迎えることから「25周年感謝祭」を実施し、人気商品を特別価格で販売しました。また、令和８年７月には、岐阜県に初出店となる「岐阜城東通店（岐阜県岐阜市）」をオープンしました。以上の結果、売上高は7,867百万円（前年同期比105.3%）となりました。

（家族亭）

家族亭業態では、令和８年７月に「うなぎフェア」、８月に「夏のごちそうフェア」、９月には「四国フェア～島の大切な恵み、四国からのおくりもの～」を開催し、旬の食材や各産地の個性的な食材を活かした食事のおいしさ、楽しさを訴求しました。また、令和８年７月には「さんちか店（兵庫県神戸市）」をリニューアルオープンしました。以上の結果、売上高は2,760百万円（前年同期比97.2%）となりました。

（アミノ寿司業態）

アミノ寿司業態のうまい鮨勘では、令和８年７月に「うまい鮨勘の夏祭フェア」、８月には「秋の気配フェア」を開催し、自社仕入れチームの目利きで選んだ食べ応えのあるネタ、旬のネタを期間限定で販売しました。また、令和８年９月に群馬県で２店舗目となる「うまい鮨勘ゆとろぎ太田飯塚店（群馬県太田市）」をオープンしました。以上の結果、売上高は3,664百万円（前年同期比108.8%）となりました。

当社グループは、外食事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績に関する記載を省略しております。

〔当社グループ　業態別店舗数〕

		前連結会計年度末	M&Aによる増減	出店実績	閉店実績	当中間連結会計期間末	当連結会計年度出店計画
レストラン店舗数（国内）		614（70）	84（－）	11（１）	２（１）	707（70）	40
和食ファミレス	和食さと	201（－）	－（－）	１（－）	－（－）	202（－）	５
グルメ寿司	にぎり長次郎・CHOJIRO	73（－）	－（－）	２（－）	－（－）	75（－）	５
	回転寿司みさき（※１）	－（－）	84（－）	－（－）	－（－）	84（－）	－
	アミノ寿司業態（うまい鮨勘など）（※１）	33（－）	－（－）	１（－）	－（－）	34（－）	３
	回転すし北海道・すし弁慶	６（－）	－（－）	－（－）	－（－）	６（－）	１
そば･うどん	家族亭（※１）	59（７）	－（－）	－（－）	２（１）	57（６）	２
	得得（※１）	59（43）	－（－）	３（－）	－（－）	62（43）	５
丼・定食・その他	かつや	52（18）	－（－）	３（１）	－（－）	55（19）	８
	天丼・天ぷら本舗 さん天	35（１）	－（－）	－（－）	－（－）	35（１）	２
	定食屋 宮本むなし	24（－）	－（－）	－（－）	－（－）	24（－）	－
	からやま	12（－）	－（－）	１（－）	－（－）	13（－）	２
	玉子焼・お出汁ひまわり	８（－）	－（－）	－（－）	－（－）	８（－）	２
	ビフテキ牛ノ福（レストラン）	５（－）	－（－）	－（－）	－（－）	５（－）	－
	M&S　FC事業（※２）	35（１）	－（－）	－（－）	－（－）	35（１）	５
	その他（※３）	12（－）	－（－）	－（－）	－（－）	12（－）	－
レストラン店舗数（海外）		23（23）	－（－）	８（８）	２（２）	29（29）	－
海外	海外店舗	23（23）	－（－）	８（８）	２（２）	29（29）	－
中食店舗数		143（131）	88（－）	４（４）	13（13）	222（122）	33
中食	鶏笑	131（130）	－（－）	４（４）	13（13）	122（121）	30
	京樽（※１）	－（－）	88（－）	－（－）	－（－）	88（－）	－
	宅配寿司業態	９（１）	－（－）	－（－）	－（－）	９（１）	－
	ビフテキ牛ノ福（中食）	３（－）	－（－）	－（－）	－（－）	３（－）	３
グループ店舗数	グループ計	780（224）	172（－）	23（13）	17（16）	958（221）	73
	グループ計（直営のみ）	556（－）	172（－）	10（－）	１（－）	737（－）	40

（　）内はFC・のれん分け及び合弁事業店舗数

※１ 複数ブランドを含みます。

※２ ポポラマーマ、ミスタードーナツ、ドトールコーヒー、大釜屋、しんぱち食堂

※３ とくとくサービスエリア事業は、その他業態に含みます。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、53,757百万円（前連結会計年度末比6,612百万円の増加）となりました。

流動資産は、18,378百万円（前連結会計年度末比940百万円の減少）となりました。これは主に、現金及び預金の減少2,402百万円、売掛金の増加1,156百万円、流動資産その他の増加250百万円などであります。

固定資産は、35,309百万円（前連結会計年度末比7,567百万円の増加）となりました。これは主に、土地の増加3,999百万円、差入保証金の増加1,671百万円、建物（純額）の増加1,220百万円などであります。

流動負債は、14,448百万円（前連結会計年度末比2,388百万円の増加）となりました。これは主に、未払金の増加1,306百万円、買掛金の増加1,044百万円などであります。

固定負債は、19,030百万円（前連結会計年度末比2,386百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の増加2,260百万円、資産除去債務の増加529百万円、社債の減少386百万円などであります。

純資産は、20,278百万円（前連結会計年度末比1,837百万円の増加）となりました。

（３）当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,402百万円減少し、10,884百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,401百万円（前年同期は同2,014百万円）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益2,492百万円、負ののれん発生益1,477百万円、減価償却費1,152百万円などであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、5,193百万円（前年同期は同1,669百万円）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,756百万円、有形固定資産の取得による支出2,188百万円、無形固定資産の取得による支出251百万円などであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1,388百万円（前年同期は1,766百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,500百万円、長期借入金の返済による支出946百万円、社債の償還による支出663百万円などであります。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和９年３月期の連結業績予想につきましては、令和８年５月15日に公表いたしました決算短信に記載の連結業績予想から修正しております。

なお、詳細につきましては、令和８年11月９日に公表いたしました「特別利益（負ののれん発生益）の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和８年３月31日）	当中間連結会計期間 （令和８年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,287,030	10,884,036
売掛金	3,460,740	4,617,635
商品及び製品	53,258	75,251
原材料及び貯蔵品	1,503,120	1,537,816
１年内回収予定の長期貸付金	69,292	67,070
その他	946,349	1,197,347
貸倒引当金	△429	△510
流動資産合計	19,319,362	18,378,648
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,438,881	6,658,954
土地	3,438,760	7,437,760
その他（純額）	3,457,595	4,352,402
有形固定資産合計	12,335,237	18,449,117
無形固定資産		
のれん	5,387,205	5,148,269
商標権	2,440,243	2,341,350
その他	309,788	580,838
無形固定資産合計	8,137,237	8,070,458
投資その他の資産		
投資有価証券	900,569	1,223,991
長期貸付金	607,068	582,727
差入保証金	4,369,558	6,041,457
繰延税金資産	746,753	281,010
その他	654,913	669,093
貸倒引当金	△8,996	△8,457
投資その他の資産合計	7,269,867	8,789,823
固定資産合計	27,742,342	35,309,398
繰延資産	83,918	69,583
資産合計	47,145,623	53,757,629

（単位：千円）

	前連結会計年度 （令和８年３月31日）	当中間連結会計期間 （令和８年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,348,377	3,393,019
１年内償還予定の社債	1,147,500	870,000
１年内返済予定の長期借入金	1,867,683	2,160,299
未払金	3,418,677	4,724,759
未払法人税等	652,310	342,839
賞与引当金	606,641	877,700
店舗閉鎖損失引当金	1,575	－
その他	2,017,615	2,079,969
流動負債合計	12,060,380	14,448,589
固定負債		
社債	7,683,750	7,297,500
長期借入金	5,513,111	7,773,849
再評価に係る繰延税金負債	85,305	85,305
繰延税金負債	119,419	253,095
役員退職慰労引当金	228,203	27,753
役員株式給付引当金	68,590	76,120
退職給付に係る負債	196,835	210,918
資産除去債務	1,509,554	2,038,676
その他	1,239,082	1,266,912
固定負債合計	16,643,852	19,030,131
負債合計	28,704,232	33,478,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,077,683	11,077,683
資本剰余金	4,482,172	4,482,172
利益剰余金	2,706,295	4,382,402
自己株式	△116,715	△116,212
株主資本合計	18,149,436	19,826,046
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485,695	687,806
繰延ヘッジ損益	120,548	78,483
土地再評価差額金	△926,256	△926,256
為替換算調整勘定	9,583	－
その他の包括利益累計額合計	△310,428	△159,966
新株予約権	3,986	3,986
非支配株主持分	598,396	608,843
純資産合計	18,441,390	20,278,909
負債純資産合計	47,145,623	53,757,629

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
売上高	37,212,524	41,694,039
売上原価	12,671,996	14,384,514
売上総利益	24,540,528	27,309,525
販売費及び一般管理費	22,927,322	26,221,472
営業利益	1,613,206	1,088,052
営業外収益		
受取利息	4,213	5,006
受取配当金	22,448	16,647
受取家賃	23,588	22,463
為替差益	12,183	6,393
雑収入	63,745	66,209
営業外収益合計	126,178	116,720
営業外費用		
支払利息	76,015	95,513
不動産賃貸費用	14,919	13,506
雑損失	47,535	78,692
営業外費用合計	138,470	187,712
経常利益	1,600,914	1,017,060
特別利益		
固定資産売却益	42	－
為替換算調整勘定取崩益	－	14,029
負ののれん発生益	－	1,477,011
特別利益合計	42	1,491,041
特別損失		
固定資産除却損	10,704	15,365
減損損失	8,323	－
店舗閉鎖損失	641	－
賃貸借契約解約損	612	－
特別損失合計	20,282	15,365
税金等調整前中間純利益	1,580,675	2,492,735
法人税、住民税及び事業税	405,809	169,393
法人税等調整額	275,007	222,090
法人税等合計	680,816	391,483
中間純利益	899,858	2,101,251
非支配株主に帰属する中間純利益	39,384	10,447
親会社株主に帰属する中間純利益	860,473	2,090,804

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
中間純利益	899,858	2,101,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,665	202,110
繰延ヘッジ損益	28,388	△42,064
為替換算調整勘定	△9,954	△9,583
その他の包括利益合計	150,098	150,462
中間包括利益	1,049,957	2,251,714
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,010,572	2,241,267
非支配株主に係る中間包括利益	39,384	10,447

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　令和７年４月１日 至　令和７年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　令和８年４月１日 至　令和８年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,580,675	2,492,735
減価償却費	1,035,086	1,152,813
のれん償却額	223,160	238,935
負ののれん発生益	－	△1,477,011
減損損失	8,323	－
為替換算調整勘定取崩益	－	△14,029
賞与引当金の増減額（△は減少）	△64,067	60,245
貸倒引当金の増減額（△は減少）	6,405	△457
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△1,463	△1,575
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	7,632	9,652
受取利息及び受取配当金	△26,661	△21,653
支払利息	76,015	95,513
固定資産売却益	△42	－
固定資産除却損	10,704	15,365
売上債権の増減額（△は増加）	175,640	△12,706
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,604	77,750
未収入金の増減額（△は増加）	△29,933	13,515
仕入債務の増減額（△は減少）	△243,628	△282,828
未払金の増減額（△は減少）	△340,622	△19,956
未払消費税等の増減額（△は減少）	△94,716	△207,945
未収消費税等の増減額（△は増加）	△3,093	△8,229
その他	88,096	△47,704
小計	2,402,907	2,062,428
利息及び配当金の受取額	23,180	17,903
利息の支払額	△75,302	△114,304
法人税等の支払額	△359,355	△564,206
法人税等の還付額	23,051	107
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,014,482	1,401,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,275,051	△2,188,648
有形固定資産の売却による収入	43	－
無形固定資産の取得による支出	△37,650	△251,024
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△313,764	△2,756,669
資産除去債務の履行による支出	△20,238	△23,917
差入保証金の差入による支出	△72,468	△62,478
差入保証金の回収による収入	25,428	34,362
建設協力金の支払による支出	△15,000	△6,000
建設協力金の回収による収入	37,481	39,168
その他	2,036	22,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,669,182	△5,193,117
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	3,500,000
長期借入金の返済による支出	△814,957	△946,811
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△96,635	△86,591
社債の償還による支出	△543,750	△663,750
配当金の支払額	△311,023	△414,697
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,766,367	1,388,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	827	45
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,420,240	△2,402,993
現金及び現金同等物の期首残高	12,567,643	13,287,030
現金及び現金同等物の中間期末残高	11,147,403	10,884,036

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間において、株式会社京樽の全株式を取得し子会社化したため、同社及び同社の子会社である株式会社関山を連結の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　令和７年４月１日　至　令和７年９月30日）

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
令和７年５月20日取締役会	普通株式	311,023	7.50	令和７年３月31日	令和７年６月27日	利益剰余金

（注）令和７年５月20日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金890千円が含まれております。

２　株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　令和８年４月１日　至　令和８年９月30日）

１　配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額（千円）	１株当たり配当額（円）	基準日	効力発生日	配当の原資
令和８年５月19日取締役会	普通株式	414,697	10.00	令和８年３月31日	令和８年６月26日	利益剰余金

（注）令和８年５月19日取締役会の決議による配当金の総額には、役員株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式に対する配当金1,156千円が含まれております。

２　株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。